

令和3年度事業「西川町議会事務事業評価シート」

議会による事務事業評価（西川町議会）

No.	予算科目	事業名
5	3款1項2目（老人福祉費）	老人福祉センター運営補助

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 ・町民にとって必要な事業か ・社会情勢からみて実施が適切か ・町が主体となって関与すべき事業か	15	町中心部の施設であり、温泉には一定の固定客がいるので必要性が高く、今後もサービスの維持に努めるべきである。  町民の福祉向上対策に必要な施設であるが、施設名称や施設内の設備内容について検討する必要がある。
2 妥当性 ・他事業とサービスが重なっていないか ・他自治体と比べサービスの対象、内容は適切か ・町民目線として適切か	13	温泉事業は複数あり競合しているが、東部地区唯一の施設である温泉サービスの確保が必要である。
3 効率性 ・事業の手法は効率が良いか ・コスト削減の余地はないか ・受益者負担は適正か	8	社会福祉協議会の事務所として利用も可能であり、人件費の圧縮もできるのではと思われる。検討を要する。
4 成果 ・事業の目的が達成されているか ・前年以前と比較し成果は上がっているか	7	温泉の固定客に頼らず、施設全体の利用者を増やす必要がある。  施設を有効利用することにより、老人福祉だけでなく、町民全体の福祉向上を目指す必要がある。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	1 きわめて良好である 100点	43
	2 良好である 75～99点	
	3 おおむね適正である 50～74点	
	4 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
3	1 拡充する	町中心部の施設であり、温泉には一定の固定客がいるので、集客を目指す努力が必要である。
	2 現状のまま維持する	
	3 改善し継続する	町民から会費を集め運営費に充てているが、運営母体の社会福祉協議会が積極的に運営するのが妥当である。
	4 見直しのうえ縮小する	
	5 期間設定し終了	社会福祉協議会と老人福祉センターの事務所を統合し、経費の圧縮を考えるべきである。
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
町民の福祉向上対策に必要な施設と思うが、親しみやすい愛称をつけることができないか、また、施設内の設備内容について検討する必要がある。
温泉をもっと有効に利用する方法はないか、吟味していく必要がある。イベントや健康教室など、利用者を増加させる取り組みが必要である。